

平成 27 年度 事業 報告

第 1 都市及びその周辺部における良好な居住環境の整備促進並びに地域住民のふれあいの場と機会の提供を目的とする都市環境整備事業

1 まちづくりに関する技術や知識を研究・蓄積するとともに、研修会等を通じてそれらを積極的に市町村や関係団体へ公開・提供するまちづくり普及啓発事業及び土地区画整理事業や都市計画事業を促進する支援事業関係

(1) 都市計画事業、土地区画整理事業等のまちづくりに関する調査研究、企画及び啓発事業

ア 初動期における地域のまちづくりを支援するため、まちづくり計画推進業務として、市町村に対して、2 件業務支援した。

イ 都市計画、都市計画事業、土地区画整理事業の企画及び啓発

関係市町村と連携を図り、豊橋市を始め 34 市 8 町 1 村及び豊橋牛川西部土地区画整理組合始め 36 組合並びに 1 準備組合の参加を得て、研修会、地区研究会及び講習会を開催し、助言及び指導を行った。

① 市町村職員土地区画整理研修会

県職員等を講師に迎え、市町村職員を対象として、土地区画整理事業の全般について研修会を開催した。

月 日	会 場	人員	主 な 内 容
27 年 8 月 27 日 く 27 年 8 月 28 日	ウインクあいち (愛知県産業労働 センター)	170 名	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理総論始め 6 件 ・都市再生整備計画事業について ・土地区画整理法と税務の取扱いについて ・土地区画整理事業の清算・登記について

② 土地区画整理地区研究会

愛知県を尾張地区、三河地区に分け、市町村職員、組合役員及び準備組合代表者を対象として、地区別に研究会を開催した。

月 日	会 場	人員	主 な 議 題
○尾張地区 27 年 10 月 20 日	尾張旭市文化会館 (あさひのホール)	107 名	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康都市尾張旭」の実現に向けて ・事例発表 (尾張旭旭前城前特定土地区画整理事業)
○三河地区 27 年 11 月 20 日	碧南市役所	90 名	<ul style="list-style-type: none"> ・震災への備え ―正しく知り、正しく恐れる― ・事例発表 (碧南伊勢土地区画整理事業)

③ 駅周辺まちづくり事業研究会

駅周辺において事業を実施または予定している市町村職員を対象として、まちづくりに関する知識向上と意見交換を図る研究会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 議 題
27年 9月 18日	長久手市文化の家風のホール	94名	<ul style="list-style-type: none"> ・リニモ沿線における長久手市の土地区画整理事業について ・リニモを活かした観光交流について ・リニモ沿線地域活性化への取組みについて ・全国都市緑化あいちフェアについて ・現地視察（長久手中央土地区画整理事業、公園西駅周辺土地区画整理事業、全国都市緑化あいちフェア）

④ 土地区画整理講習会

土地区画整理組合役員及び準備組合代表者等を対象として、土地区画整理に関する知識向上を図ることを目的として講習会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
28年 1月 21日	ウインクあいち（愛知県産業労働センター）	161名	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業と都市景観 ・名古屋城 ～よみがえる本丸御殿～

⑤ まちづくりプラスα講習会

市街地整備などまちづくりを進めている市町村職員を対象として、都市を取り巻く様々な課題を解決するための有益な情報提供及び意見交換を図ることを目的として講習会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
28年 3月 25日	大須演芸場	113名	<ul style="list-style-type: none"> ・高蔵寺リ・ニュータウン計画 ・都市をたたく時代のまちづくり ・地方創生に係る最新の話題等

⑥ 市町村職員震災復興土地区画整理研修会

土地区画整理を担当している県及び市町村職員を対象として、東日本大震災により甚大な被害を受けた東北地方太平洋沿岸市町に赴き、直接関係者から話を聞くことにより、懸念される南海トラフ等巨大地震の発生に備え、震災復興土地区画整理事業に関する知識・危機管理能力の向上を図ることを目的として研修会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
27年 10月 5日 ～ 27年 10月 6日	宮城県石巻市、七ヶ浜町、女川町	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要説明及び現地調査

ウ 土地区画整理事業等の業務運営に関する諸問題について、刈谷野田北部土地区画整理事業始め5案件に対して、相談等に応じるとともに指導を行った。

(2) 都市計画事業、土地区画整理事業等のまちづくりに関する業務支援

市町及び土地区画整理組合から依頼された土地区画整理事業等の業務支援実績は、次のとおりである。

区 分	地方公共団体		土地区画整理組合		計	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
設計関係業務	20	75,565,440	1	1,982,880	21	77,548,320
換地関係業務	10	100,820,160	13	47,650,976	23	148,471,136
実施設計及び 工事積算業務	4	10,930,680	6	16,485,120	10	27,415,800
運 営 業 務	—	—	6	31,826,520	6	31,826,520
合 計	34	187,316,280	26	97,945,496	60	285,261,776

○業務支援団体数及び地区数

区 分	団 体 数	地 区 数
地方公共団体	12	24
土地区画整理組合	13	13
合 計	25	37

(3) 愛知県土地区画整理組合連合会等各種団体に関する事務

組合土地区画整理事業を促進させるため、47 会員（平成 28 年 3 月末現在）の集まりである愛知県土地区画整理組合連合会の事務局として、各種会議と研修会、講習会を通じ、啓発及び指導を行った。

この他に、中日本ブロック協議会事務局、全日本土地区画整理士会愛知県支部事務局を担っており、同じく啓発及び指導を行った。

(4) 公共工事の技術水準向上を図るための建設技術の普及啓発事業

ア 愛知県との共催による建設技術研修（実務研修）

県市町村等職員を対象として、愛知県との共催により土木技術に関連する研修を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
27 年 5 月 21 日 ～ 27 年 11 月 12 日 延べ 18 日間	愛知県東大手庁舎 (橋梁点検講座は名古屋大学及び愛知県西三河建設事務所)	432 名	・道路計画実務講座始め 12 研修

イ 県市町村等職員を対象とする建設技術研修（特別研修）

① 現場講習会

市町村職員を対象として、日常業務ではあまり触れる機会のない各種工事現場の見学を通して、土木工事に関する知識の向上を図ることを目的として、講習会を開催した。

月 日	見 学 先	人 員	主 な 内 容
27年11月16日	愛知県名古屋市 [伊勢湾水理環境実験センター] [名古屋港高潮防潮堤改良工事]	36名	伊勢湾水理環境実験センター ・伊勢湾環境水槽等の視察 名古屋港高潮防潮堤改良工事 ・高潮防潮堤改良工事の施工状況

② 技術士受験支援講座

技術士試験を受験予定の県市町村等職員を対象として、受験対策の充実を図ることを目的として、研修会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
28年1月14日	愛知県東大手庁舎	98名	・技術士試験の概要説明 ・試験の傾向と対策

③ 住民説明会実践訓練講座

県市町村等職員を対象として、住民説明というテーマを用いてプレゼンテーション技術の向上を図ることを目的として、研修会を開催した。

月 日	会 場	人 員	主 な 内 容
27年9月8日	ウィルあいち (愛知県女性総合センター)	37名	・プレゼンテーションに関する講義 ・スピーチ、グループワーク、模擬説明会の実習

(5) 県市町村に対する公共事業にかかる情報提供・技術支援

ア 橋梁長寿命化修繕計画技術支援業務

① 橋梁長寿命化修繕計画策定業務

市町村の橋梁長寿命化修繕計画策定を技術支援する業務であり、あま市に対して、201 橋の計画策定を行った。

② 道路橋定期点検支援業務

市町村が管理する道路橋について、定期点検の地域一括発注を行う業務であり、春日井市始め 11 市町に対して、506 橋の点検支援を行った。

イ 公共事業の積算技術に係る情報提供及び技術支援

① 資材単価データ等の配信

パソコンを用いる積算業務に必要な単価等を電算データベース化し、豊橋市始め 53 市町村及び 11 団

体に対して、積算単価の情報提供を行った。

なお、瀬戸市始め 25 市町村及び 4 団体に対しては、パソコン用積算ソフトも提供し、積算業務が円滑に機能するよう支援した。

② 積算資料作成業務システムの運用管理

県及び市町村等が発注する積算資料作成業務委託において、建設コンサルタント等が作成する金抜き設計書の作成指導、変換・登録、積算資料の提供を行う業務であり、日光川下流流域下水道事業管きよ布設工事（下野工区）を始めとして、390 件の業務を行った。

③ 積算に関する図書の販売

市町村及びコンサルタント等に対して、積算基準及び歩掛表（その 1）・（その 2）始め 3 図書、計 514 部を販売した。

④ 建設技術情報交換ネットワークシステムの運用管理

愛知県や市町村を始めとする 135 の県内公的機関を会員として、様々な情報提供や会員同士の情報交換を行うためのネットワークシステムの運用管理を行った。

○ 事業収益

業 務 区 分	金 額 (円)
橋梁長寿命化修繕計画技術支援業務	181,013,392
橋梁長寿命化修繕計画策定業務	9,334,440
道路橋定期点検支援業務	171,678,952
積算技術に係る情報提供及び技術支援	79,593,454
資材単価データ等の配信	53,247,636
積算資料作成業務	24,948,000
積算関係図書販売	1,397,818
合 計	260,606,846

ウ 積算技術支援業務に使用する積算システムサーバの買替えに要する資産取得・資金の積立

特定資産取得・改良資金の設定に基づき、当期の剰余金の一部を公益資産取得資金として繰入を行った。

2 緑とオープンスペースの場である公園施設を地域交流のための多様な活動の拠点として、地域住民にふれあいの場と機会を提供する事業

(1) ふれあいの場を提供する事業

指定管理者として管理運営する都市公園施設を活用し、安らぎを感じさせる身近な自然空間、レクリエ

ーションの場を提供することに努めた。

ア 施設の概要

公園名 [管理面積] (管理事務所名)	公園内の主な施設	
	有料施設	無料施設
愛・地球博記念公園 [1,498,336㎡] (愛・地球博記念公園管理事務所)	サツキとメイの家 茶室 アイススケート場(屋内施設) 水泳場(屋内施設(一部屋外) 5水槽、スライダー3基) 駐車場(3箇所) 多目的広場(夜間照明付) 野球場(3面) 地球市民交流センター (体育館、体験学習室3室、多目的室 4室、多目的スタジオ3室) サイクリングコース(貸自転車) 庭球場(人工芝8面(夜間照明付) 内2面庭球場兼フットサル場) 多目的球技場(天然芝1面)	愛・地球博記念館 こどものひろば 日本庭園 林床花園 親林楽園 大芝生広場(屋外ステージ) フィールドセンター 花の広場 西エントランス広場 グローバルループ あいちアートスクエア フレンドシップ広場 交流広場 あいちサトラボ
牧野ヶ池緑地 [742,958㎡] (牧野ヶ池緑地管理事務所)	—	ゲートボール場(4面) 自由広場 芝生広場 多目的広場 児童野球コーナー
大高緑地 [1,006,005㎡] (大高緑地管理事務所)	ゴーカート(単席、複席) 野球場(3面) 庭球場(全天候型14面) 水泳場(屋外施設4槽) デイキャンプ場	児童野球場(1面) グラウンドゴルフ場(1面) 桜の園 四季の園 多目的広場 芝生広場 ドッグラン
小幡緑地 [762,361㎡] (小幡緑地管理事務所)	野球場(西園1面、東園1面) 庭球場(西園人工芝10面、 全天候型2面) 球技場(西園1面) トレーニング施設(西園)	児童野球場(東園1面) ゲートボール場(本園3面、東園1面) 児童広場(西園) 芝生広場(本園、西園、東園) 児童園(本園、東園) 野鳥観察の森(中央園) 水生園(中央園)
新城総合公園 [643,338㎡] (新城総合公園管理事務所)	野球場(1面) 庭球場(人工芝6面) 競技場(1面) 陸上競技場(1面) 弓道場(近的12人立、遠的6人立)	自由広場 芝生広場 子供広場 展望広場 わんぱく広場 ニュースポーツ広場 屋根付き広場

公園名 [管理面積] (管理事務所名)	公園内の主な施設	
	有料施設	無料施設
尾張広域緑道 [270, 446 m ²] (尾張広域緑道 管理事務所)	遊戯用自転車 トレーニング施設 体育室 体育館	多目的広場 展望塔 ディスクゴルフ (9ホール)
あいち健康の森公園 [429, 248 m ²] (あいち健康の森公園 管理事務所)	庭球場 (人工芝 11 面、 内 4 面夜間照明付) 球技場 (1 面) 体育館 会議室 ベビーゴルフ場 (9ホール)	大芝生広場 健康ロード 交流センター 生きもの達の谷 いのちの池 子どもの森
東三河ふるさと公園 [1, 243, 188 m ²] (東三河ふるさと公園 管理事務所)	—	修景庭園 展望ツツジ園 三河山野草園 ピクニック園地 三河郷土の谷 憩いの広場 東三河あそび宿 桜の広場

イ 業務の概要

- (ア) 利用者が安全・快適に公園を利用できるように、公園内の施設・機器等の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 公園の利用環境を整えるため、除草、清掃等の業務を行った。
- (ウ) 公園内の施設の損傷や異常を発見し、早期に必要な措置を講じるため、巡視業務を行った。
- (エ) 施設の利用受付・利用許可及び利用料金の徴収業務を関係規程に基づき適正に行った。

○ 施設利用収益

公園名	金額 (円)
愛・地球博記念公園	464, 328, 869
大高緑地	25, 649, 080
小幡緑地	10, 253, 262
新城総合公園	3, 799, 980
尾張広域緑道	7, 106, 376
あいち健康の森公園	16, 238, 760
合計	527, 376, 327

- (オ) 窓口や電話等による利用者からの施設利用の問い合わせに対し、ウェブページ、パンフレットなど

を活用し適切に案内業務を行った。

- (カ) 全国都市緑化あいちフェア開催に伴う関連する業務として、案内誘導業務、必需品の購入及び施設修繕等を行った。

○ 第32回全国都市緑化あいちフェア

月 日	会 場	入場者数
27年9月12日 ～ 27年11月8日	愛・地球博記念公園	737,100人

ウ 利用者の便宜向上を図る取り組み

- (ア) 愛・地球博記念公園内に、飲食品提供や記念品販売のための売店を愛知県の許可を受けて、10店舗設置した。
- (イ) 8県営都市公園内に、清涼飲料水等を販売するため自動販売機を愛知県の許可を受けて、141台設置した。
- (ウ) 大高緑地内で、愛知県の許可を受けて、家族等グループで楽しめる18ホールのベビーゴルフ場の運営に努めた。
- (エ) 4県営都市公園内（大高緑地、新城総合公園、尾張広域緑道、あいち健康の森公園）に、愛知県の許可を受けて、未就学児童が楽しめるミニカー場の運営に努めた。
- (オ) 牧野ヶ池緑地の多目的広場に愛知県が設置した夜間照明設備について、愛知県の許可を受けその運営に努めた。
- (カ) 愛・地球博記念公園内で、愛知県の許可を受け、園内の移動手段を補完し、利用者を楽しんでもらえるパークトレインの運行を実施し、その適切な運営に努めた。

○ 事業収益

施 設 名	金 額 (円)
売店収益	15,543,920
自動販売機販売手数料	29,938,863
施設利用収益	14,771,860
ベビーゴルフ場	5,872,850
ミニカー場	8,153,600
夜間照明設備	585,960
その他	159,450
合 計	60,254,643

(2) ふれあいの機会を提供する事業

ア 多くの人に公園を利用し、楽しんでもらえるように、季節の花まつりやウォーキング、工作教室等、様々なイベントを開催した。

○ 協会企画イベント

月 日	会 場	実施回数	延べ参加人数
27年4月1日 ┆ 28年3月31日	愛・地球博記念公園 始め8公園	651回	659,559人

主なイベント

- ・モリコロパーク夏まつり（愛・地球博記念公園）
- ・秋まつり（牧野ヶ池緑地、大高緑地、小幡緑地、新城総合公園）
- ・ほたる鑑賞会（あいち健康の森公園）
- ・新城総合公園ふれあいまつり（新城総合公園）

○ 地球市民交流センター提供プログラム

月 日	会 場	実施回数	延べ参加人数
27年4月1日 ┆ 28年3月31日	愛・地球博記念公園	936回	104,459人

主なプログラム

- ・鳴く虫の不思議（虫笛）作り
- ・ノルディックウォーキング
- ・パートナーフェスティバル

○ 企業等持込イベント

月 日	会 場	実施回数	延べ参加人数
27年4月1日 ┆ 28年3月31日	愛・地球博記念公園 始め8公園	387回	1,672,313人

主なイベント

- ・全日本うまいもの祭り（愛・地球博記念公園）
- ・あいち合戦ワールド（大高緑地）
- ・新城ラリー（新城総合公園）

- ・あいち県民健康祭（あいち健康の森公園）

イ 公園の紹介を始めとする情報発信として、パンフレットの作成や、ウェブページ及びポスター等を活用し、幅広く広報活動を行った。

第2 水辺における安心・安全の確保及びふれあいの場と機会の提供を目的とする港湾環境整備事業

(1) ふれあいの場を提供する事業

指定管理者として管理運営する海陽ヨットハーバーを地域交流のための多様な活動の拠点として活用し、マリンスポーツを通じて海洋に対する興味や関心を高めるとともに、水辺における安心・安全なふれあいの場を提供することに努めた。

ア 施設の概要

施設名 [管理面積] (管理事務所名)	ハーバー内の主な施設	
	有料施設	無料施設
海陽ヨットハーバー [陸域 55,700㎡] [水域 32,700㎡] (海陽ヨットハーバー 管理事務所)	野積場 (18,203.62㎡) 艇庫 (1,053.91㎡) 固定式起重機 (1基) 移動式荷役機械 (1台) 附属ヨット (50艇) 給水施設 (45基) 船具用ロッカー (28個) 会議室 (2室)	ロッカー (232個) シャワー (16基)

イ 業務の概要

- (ア) 利用者が安全快適に施設を利用できるよう各施設の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 利用者の安全確保、事故防止のため、職員による定期的な施設の巡視を行った。
- (ウ) 施設利用の受付・利用許可及び利用料金の徴収業務を適切に行った。
- (エ) 施設利用の適正化を図るとともに出港艇の監視業務を行った。
- (オ) ウェブページ、パンフレットなどを活用した施設利用の案内業務を行った。

○施設利用収益

施設名	金額 (円)
海陽ヨットハーバー	24,129,469

(2) ふれあいの機会を提供する事業

海陽ヨットハーバーを活用し、ふれあいの機会を提供するために、次の事業を行った。

ア ヨット教室の開講

マリンスポーツとしてのディンギー型ヨットに関する知識・操船技術などをより多くの方に習得してもらうため、ヨット教室を開講した。

月 日	実施回数	人員	内 容
27年6月1日 ┆ 27年9月30日	24回	71名	・グループコース ・レベルアップコース ・実技コンテスト

イ ヨットレースの開催事業

多くの方にヨット競技のできる機会を提供するとともに施設利用者の増大を図るため、ヨットレースを開催した。

月 日	実施回数	人員	内 容
27年8月16日 ┆ 28年1月10日	5回	345名 (179艇)	・海陽チャレンジレース ・海陽レガッタ ・海陽ミッドウィンターレガッタ ・理事長杯ヨットレース

ウ ヨット体験乗船会の開催事業

ヨットの普及活動としてヨット体験乗船会を開催した。

月 日	実施回数	人員	内 容
27年7月20日 ┆ 27年9月13日	5回	100名	・海の日記念ヨット体験乗船会 ・小学生ヨット体験乗船会 ・クルーザーヨットレース体験乗船

エ その他海洋レクリエーションに関する広報活動等

ウェブページなどによりヨット教室、レース及び体験乗船会の開催案内・実施報告を行った。

(3) 水辺における安心・安全を確保する事業

海陽ヨットハーバーを活用し、誰もが利用できる安心・安全な魅力ある水辺を提供するため、海難救助・消防訓練等を行い海難事故防止に備えた。また、衣浦・三河の両港湾において、港湾施設の管理を行うとともに、国際貨物船舶等に対する給水業務を行い、乗組員の生命・身体の安全等を確保に努めた。

ア 衣浦港・三河港の港湾施設

港名 (担当事務所名)	施設名
衣浦港 (衣浦港事務所)	上屋 (1棟) 給水施設 (4地区)
三河港 (三河港事務所)	上屋 (2地区5棟) 貯木場 (1カ所) 木材整理場 (1カ所) 給水施設 (2地区)

イ 業務の概要

- (ア) 上屋等の施設・設備等の保守点検、整備及び小規模修繕を行った。
- (イ) 施設の安全管理のため、職員による定期的な巡回点検を行った。
- (ウ) 上屋等の施設利用申請書類の整理などの補助事務を行った。
- (エ) 船舶給水施設の水質検査を適切に実施するとともに入港船舶に対する給水作業を円滑に行った。

第3 愛知県都市緑化基金を活用し民有地の緑化推進への助成及び都市緑化に関する普及啓発を行う都市緑化基金事業

(1) 愛知県都市緑化基金の管理及び運用

安全確実な方法により基金を管理し地方債による運用を行った。

(2) 愛知県都市緑化基金による都市緑化推進事業

ア 市町村等が設置した都市緑化を推進する基金で行う都市緑化推進事業への助成事業を行った。

岡崎市 (民有地緑化助成事業、保存樹・保存樹林の維持管理助成事業、花のまちづくり事業)

瀬戸市 (花のまちづくり事業)

刈谷市 (保存樹・保存樹林の維持管理助成事業)

安城市 (樹木配布事業)

大府市 (民有地緑化助成事業、保存樹・保存樹林の維持管理助成事業、樹木配布事業)

知多市 (保存樹・保存樹林の維持管理助成事業)

長久手市 (樹木配布事業)

西尾市 (樹木配布事業)

公益財団法人豊橋みどりの協会 (樹木配布事業)

イ 都市緑化に関する普及啓発事業

(ア) 第27回あいち都市緑化フェアを愛知県と共同で開催した。

日 時 平成27年4月29日(水・祝) 午前10時から午後3時まで

場 所 県営大高緑地(名古屋市緑区)

主 催 公益財団法人愛知県都市整備協会[愛知県都市緑化基金]、愛知県

後 援 国土交通省中部地方整備局、東海旅客鉄道株式会社、公益財団法人都市緑化機構、中日新聞社、名古屋鉄道株式会社

協 賛 一般社団法人愛知県造園建設業協会、大高緑地観光協会 他5団体

協力団体 特定非営利活動法人MFA、大高もりづくり会 他21団体

参加者 約13,000人

(イ) ふるさと満喫まつり2015を愛知県と共同で開催した。

日 時 平成27年10月24日(土) 午前10時から午後4時まで

日 時 平成27年10月25日(日) 午前10時から午後3時まで

場 所 県営東三河ふるさと公園(豊川市)

主 催 公益財団法人愛知県都市整備協会[愛知県都市緑化基金]、愛知県

後 援 豊川市、豊橋市、蒲郡市、田原市、東三河広域協議会、まちDEN協議会

協 賛 公益財団法人愛知水と緑の公社、豊橋鉄道株式会社 他5団体

参加者 約9,400人

(ウ) ホームページに基金の概要及び事業案内を掲載するとともにパンフレットの配布を行い、緑化基金のPRに努めた。

第4 法人運営関係

1 理事会

平成27年4月1日(水)

開催方法 決議の省略方法

決議事項 「理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の選定」の件

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意(確認)の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

平成27年6月5日（金）

開催場所 ウィルあいち（1階セミナールーム）

決議事項 平成26年度事業報告及び事業報告の附属明細書について、平成26年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）について、定時評議員会の招集について

報告事項 平成27年4月以降の職務執行の状況

出席等 決議に必要な出席理事の数6名、出席9名、欠席2名、監事出席2名

平成27年11月16日（月）

開催方法 決議の省略方法

決議事項 個人情報保護規程の一部改正について

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

平成28年3月15日（火）

開催場所 アイリス愛知（2階コスモス）

決議事項 平成28年度事業計画について、平成28年度収支予算について、平成28年度資金調達及び設備投資の見込みについて、組織規程、就業規程及び財務規程の一部改正について、評議員会の招集について

報告事項 平成27年6月以降の職務執行の状況

出席等 決議に必要な出席理事の数6名、出席9名、欠席2名、監事出席2名

平成28年3月28日（月）

開催方法 決議の省略方法

決議事項 「評議員会の招集・開催及び目的である事項」の件

出席等 提案書に対し理事及び監事の全員から書面による同意（確認）の意思表示を得て、理事会の決議があったものとみなされた。

2 評議員会

平成27年6月24日（水）

開催場所 ウィルあいち（1階セミナールーム）

決議事項 平成26年度事業報告及び事業報告附属明細書について、平成26年度決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）について、役員を選任について、役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について、役員の報酬額の変更について

出席等 決議に必要な評議員の数7名、出席9名、欠席3名、監事出席2名、理事出席3名

平成28年3月28日(月)

開催場所 アイリス愛知(2階コスモス)

決議事項 平成28年度事業計画について、平成28年度収支予算について、平成28年度資金調達及び設備投資の見込みについて、常勤役員の報酬額の変更について

出席等 決議に必要な出席評議員の数7名、出席12名、監事出席2名、理事出席3名

平成28年3月30日(水)

開催方法 決議の省略方法

決議事項 「評議員及び理事の選任」の件

出席等 提案書に対し評議員全員から書面による同意の意思表示を得て、評議員会の決議があったものとみなされた。

3 監査

(1) 決算監査

事前監査 平成27年5月21日(木)

監査会 平成27年5月28日(木)

場 所 事前監査 協会会議室(事前監査会)

監査会 ウィルあいち(3階会議室7)

監査事項 平成26年度事業報告及び事業報告の附属明細書、平成26年度決算報告(貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録)

(2) 期中監査

第1四半期 平成27年8月6日(木)

第2四半期 平成27年11月5日(木)

第3四半期 平成28年2月9日(火)

平成27年度事業報告の附属明細書

平成27年度事業報告には、公益財団法人愛知県都市整備協会定款第9条第1項第2号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要事項」が存在しないので作成しない。